



栗駒山へ向かって

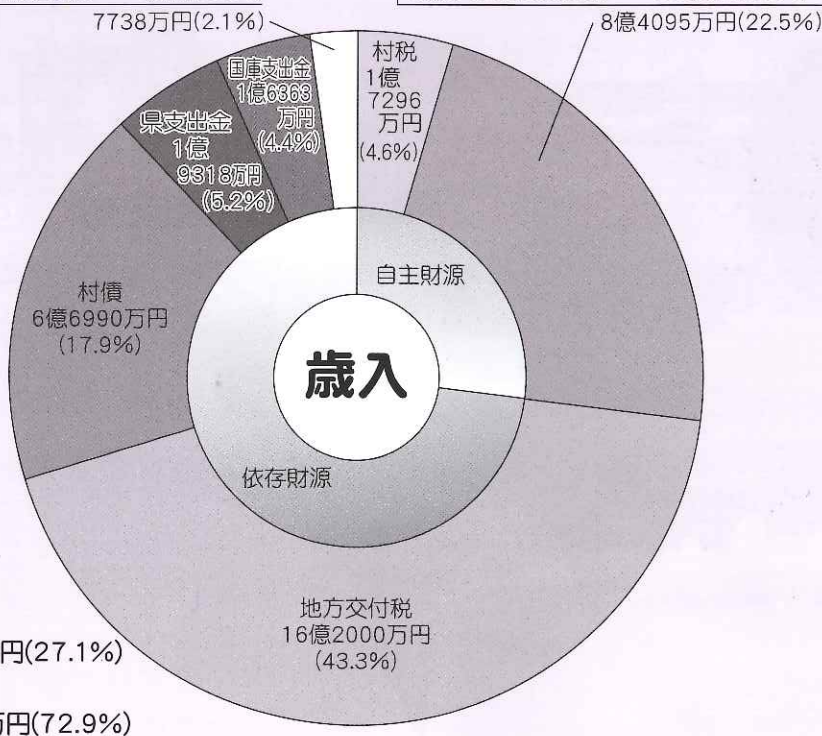
4/11 春山除雪 国道342号

戦略推進予算を可決

総合戦略に基づく施策を積極的に推進

- 地方消費税交付金 4300万円(1.2%)
- 地方譲与税 2900万円(0.8%)
- 自動車取得税交付金 400万円(0.1%)
- 地方特例交付金 40万円(0.0%)
- 交通安全対策特別交付金 30万円(0.0%)
- 利子割交付金 -25万円(0.0%)
- 配当割交付金 20万円(0.0%)
- 寄附金 20万円(0.0%)
- 株式等譲渡所得割交付金 3万円(0.0%)

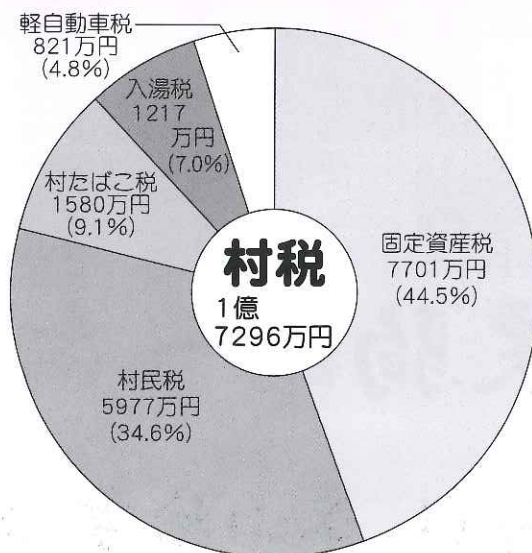
- 繰入金 6億1200万円(16.4%)
- 諸収入 1億8072万円(4.8%)
- 繰越金 2000万円(0.5%)
- 財産収入 1108万円(0.3%)
- 使用料及び手数料 1056万円(0.3%)
- 分担金及び負担金 659万円(0.2%)



3月定例会議は、4日から11日までの8日間の会期で開催されました。平成28年度一般会計予算など35議案は、すべて原案のとおり可決されました。一般質問は、3議員が登壇し、村政をただし、陳情2件を採択としました。

自主財源
10億1391万円(27.1%)
依存財源
27億2409万円(72.9%)

村税の内訳



一般会計予算のあらまし

平成28年度予算は、「東成瀬村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策の積極的推進を図るものとなっており、雇用の場の創出と定住対策事業に重点をおいた予算となりました。一般会計の予算額は37億3800万円で、前年度比94・9%と減額になりました。歳入は、村債、県支出金、地方交付税が減額し、繰入金、地方消費税交付金、国庫支出金、村税が増額となっております。

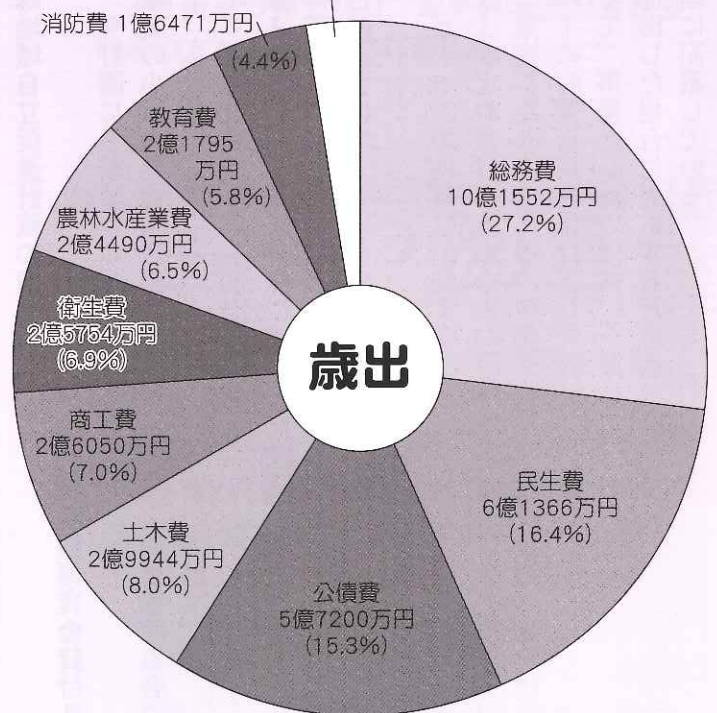
まち・ひと・しごと

一般会計は37億3800万円、対前年度比5%の減額

平成28年度の主要事業(1500万円以上抜粋)

庁舎改修事業(繰越分)	2190万円
奨学資金貸付事業	2503万円
地域活性化資金貸付事業	1億500万円
地区集会所建設事業	2000万円
情報セキュリティ強化対策事業(繰越分)	3000万円
雪冷熱利活用施設整備事業	1600万円
地方創生事業	3億2604万円
地方創生加速化事業(繰越分)	5300万円
機構集積協力金事業	2372万円
県単農業夢プラン事業	3051万円
中山間地域等直接支払事業	3432万円
新規起業等育成支援金	4500万円
観光施設整備事業	1億3133万円
社会資本整備総合交付金事業	1億1334万円
消火栓設置工事	2400万円
幸寿苑大規模改修	2億2722万円
簡易水道事業	7億6520万円

- 議会費 5863万円(1.6%)
- 労働費 1809万円(0.5%)
- 諸支出金 421万円(0.1%)
- 災害復旧費 85万円(0.0%)
- 予備費 1000万円(0.3%)



■各会計の予算額

会計名	予算額(増減率%)	
一般会計	37億3800万円(▲5.1)	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	3億5647万円(▲9.4)
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	1億1015万円(36.3)
	後期高齢者医療	2436万円(8.6)
	介護保険(保険事業勘定)	3億3363万円(9.4)
	介護保険(介護サービス事業勘定)	3億3947万円(191.2)
	簡易水道事業	8億5900万円(85.9)
	下水道事業	9977万円(0.1)
	小計	21億2285万円(43.5)
	合計	58億6085万円(8.1)

村の貯金ともいえる基金からの繰入金は、2億6230万円の増額となっています。歳出は、商工費が約8千万円、民生費で約1億4千万円の大幅な増額で、観光施設の改修工事と幸寿苑の大規模改修工事といった施設の改修にかかる経費の増額が主な要因となっています。

主な質疑



最終日の11日、東日本大震災で犠牲になられた方々に対し黙とうを行いました。

定例会議 2日目の7日と最終日となる11日、議案に対する質疑が行われました。

主な質疑の内容を要約してお伝えします。

過疎地域自立促進計画を策定

平成28年度～平成32年度

○過疎地域自立促進計画の策定

質問 今計画にも新エネルギー施設整備事業の小水力発電施設整備事業(田子内・岩井川・樺川地区)、森林バイオマス施設整備事業(樺川地区)が記載されている。平成13年に策定した村新エネルギービジョンとの関係はどのようになってきているのか。

答弁 ビジョンの内容は、使えるエネルギーがどれだけあるのかということと策定したものである。自然エネルギーの有効活用を視点として計画を立て、事業化したい団体、企業等が進出した場合に対応するため過疎計画に記載している。

○人事行政の運営等の状況の公表に関する条例

質問 人事評価制度を実際に運用するとすると勤務評価の結果から、昇給・昇格、勤勉手当などに波及するののか。

答弁 地方公務員法の改正により公務員も民間の会社と同じように勤務を評価する制度を導入するものとなっている。評価の内容によっては昇格・昇給、勤勉手当にも影響を与えることは十分に考えられる。

○物産振興資金貸付条例

質問 観光物産協会の設立の経緯と今後の活動は。

答弁 観光協会、物産協会の会員がそれぞれ20名を超えており、その内10名ほどが両方の会員となっている。観光と物産が一体となって村をPRしていく、地元の物を販売していくという目的で設立された。それぞれ役員会や臨時総会です承を得ている。

○定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例

質問 定住体験住宅とあるが利用できる期間はどの程度か。また、利用料は定住向け賃貸住宅と同じ料金になるののか。

答弁 定住体験住宅は、お試し住宅という位置付けで考えている。大体1か月から2か月程度を想定している。利用料の負担額は施設の利用料とガス・電気の実費負担となっている。

質問 利用資格に「村に住所を有している者」とあるが、村内に自分の家がある人でも対象となるのか。定住、人口を増やすということでは他から来た人を入れるということが本来の狙いだと思うが。

答弁 その点については危惧しているところであるし難しい問題だと考えている。その中身については事情を含め検討していく。

予算特別委員会

質疑



白熱

予算特別委員会（委員長・佐々木謙吉）は、9日と10日の2日間の日程で開かれました。一般会計における主な質疑の内容を要約してお知らせします。

平成27年度
一般会計補正予算（第8号）

繰越明許費

繰り越すものは

質問 移住定住事業で繰り越す事業の内容は何か。

答弁 村営アパート関係で、委託費は用地測量と住宅の実設計。工事費は建設場所の整地までとなっている。

歳出

【地方創生加速化事業関連】

備品購入費は

質問 備品購入費970万円は何か。

答弁 アンテナショップを開設するための備品で、主に厨房設備関係となっている。

開設場所はどこか

質問 アンテナショップはどこに立ち上げる見通しか。

答弁 地域おこし協力隊の佐藤君の会社に運営を委託する店舗の中に開設する予定で、場所は都内にしたとのことである。

協力隊としての運営か

質問 店舗の運営業務委託は佐藤さんの会社ということだが、協力隊は外れるのか、それとも協力隊をやりながら運営するのか。

答弁 地域おこし協力隊は3月末で終了し、今後事業をお願いする場合は会社の代表として協力いただくことになる。



店舗運営の企画を説明する地域おこし協力隊（スモールエレファント代表）の佐藤 喬さん

助成金・補助金の内容は

質問 特産品イベント助成金

体験型ツアー実証事業補助金の内容は何か。

答弁 赤べこ祭りや料理の鉄人といったイベントを想定している。体験型ツアー実証事業は、仙人修行、農業の体験ツアー、なるせ加工所での加工体験などを想定している。

機構集積協力金の実績は

質問 27年度の実績額はいくらか。また、地域集積協力金は地域でどのように使用されているか。

答弁 地域集積協力金1826

万6000円、経営転換協力金2240万円、耕作者集積協力金142万円で、地域集積協力金の使途は、受け手に対する支払いとなっている。

村営プラン事業の減額は

質問 申請者が無く全額減額されているが、どのようなPRをしたのか、申請が難しいのか、ハードルが高いため申請ができないのか。

答弁 事業費が小さいのではないかと考えている。広報は、村の広報誌で毎年3月号に掲載している。

27年度一般会計補正予算(第8号)の主なもの	
歳入	
○地方交付税	
普通交付税増	214万円
○国庫支出金	
地方公共団体情報セキュリティ強化対策補助金	520万円
地方創生加速化交付金	4566万円
○県支出金	
機構集積協力金事業補助金減	▲3311万円
県単農業夢プラン事業費補助金増	328万円
○諸収入	
貸付金元利収入減	▲2157万円
○村債	
過疎対策事業債増	4320万円
一般補助施設整備等事業債	380万円
歳出	
○総務費	
庁舎改修事業費	2190万円
情報セキュリティ対策事業費	3000万円
地方創生加速化事業費	5300万円
○民生費	
国保特別会計(事業勘定)繰出金追加	766万円
○諸支出金	
財政調整基金積立金追加	9800万円

予算特別 委員会

平成28年度 当初予算

疑問を一掃 徹底審査

歳 出

地方創生交付金は

質問 地方創生関係の交付金が計上されていないが28年度に入ってくるのか。

答弁 新型の交付金ということでも概要も含め想定はしているが、内容が示されていないので現時点ではわからない。

どこが増えたのか

質問 財産貸付金収入が増えているが、どこが増えたのか。

答弁 ダム関係で、ダム工事事務所の土地貸付分が増加となっている。

【総務費】

佐藤協力隊の終了後は

質問 地域おこし協力隊事業で2名分が予算計上されているが新しい協力隊の方は決まっているのか。

答弁 今後、募集をかけ応募があれば面接等を行い決めたい。

事業内容は

質問 さわやかなるせ夢プラン事業について、個人に50万円、法人に200万円まで補助するとなっているが、どのような事業を想定しているのか。

答弁 新規に事業を始めたい、事業の規模を拡大していくといった場合に必要な資材費や備品

について助成する事業内容となっている。

移住定住促進事業の基準は

質問 移住定住奨励金と、ふるさと定住奨励金の2つの事業の交付基準は。

答弁 移住定住奨励金は、転入して1年以上定住の方に5万円の商品券を交付。ふるさと定住奨励金は、村の奨学金を償還し

ている方が対象で、1年以上定住の方に、前年度償還額の3分の1を奨励金として交付する内容となっている。

実証事業は何か

質問 雪冷熱利用実証事業の委託先と実証内容は。

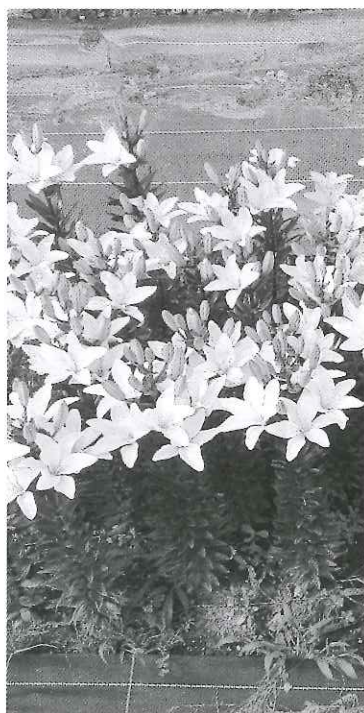
答弁 委託先は、なるせ農園で仙人ゆりの栽培、管理の実証を行う。

歳 入

村民税増加の要因は

質問 村民税個人分の所得割が増えているが、農業所得か農業以外の所得が増えたのか。

答弁 個人の給与所得者の伸びとなっている。



増殖が行われている
仙人ゆり（プチホホワイト）

【地方創生事業の工事費は】

質問 工事請負費が3億700万円と大きい額だが、内容はどのようなものか。

答弁 給食センター・食肉加工センター外構工事が3000万円、定住促進の住宅整備敷地造成に1500万円、空き家利活用住宅改修に2200万円、循環型拠点整備事業の粉殻の加工と飼料を調整する施設に2億4000万円となっている。

【民生費】
訪問のタイミングは

質問 高齢者生活相談・支援員訪問事業は、要請があったときに訪問するのが。

答弁 一人暮らし老人60人、老人世帯12世帯に対して定期的に様子観察を行うもので、社会福祉協議会に委託している。

防犯カメラの設置計画は

質問 ゆるるんなどの公共施設で多人数が集まる施設に対して、年次計画的に設置する計画はあるのか。

答弁 雪などの問題もあると考えられ、今回岩井川の城下地区に設置して検証を行い、問題がなければ増やしていきたい。

広域入所の状況は

質問 広域入所委託料が358万4000円となっているが、何人利用するのか。広域入所しなければならぬ理由は何か。

答弁 広域入所者は湯沢市3名となっている。保護者の通勤先の関係で、送迎が便利であるといった理由となっている。

【衛生費】

接種状況は

質問 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種の利用状況はどうか。

答弁 平成26年度は58%の受診率で、27年度1月末で42%となっている。周知方法は個別に通知を行っている。

勤務体制は

質問 生ごみ堆肥化推進事業委託は、常勤職員が何人で1日の勤務時間はどのようになっているのか。

るのか。

答弁 常勤職員が1人、パートが3人で勤務時間は1日8時間と把握している。



家庭から生ごみを収集し肥料などを製造
(委託先の秋田栗駒リゾート株式会社)

【労働費】

制度がなければ辞めるのでは

質問 新規雇用奨励金をもらっている間は雇用するが、制度が無くなれば辞めていくようなことであってはならない。調査や評価はどうなっているのか。

答弁 定住をしてもらう、地元企業に就職してもらうことがメインであり、これまでの実績を踏まえて浸透してきている事業と認識している。

【農林水産業費】

原材料の確保を

質問 平良カブ生産拡大支援事業助成金183万5000円は、どのようなものを考えているか。昨年のようにカブが早く無くならないよう対策が必要ではないか。

答弁 平良カブの生産を平良地区にお願いするもので、収穫量1500kgを目標に作付したい。平良地区と、なるせ加工と協議をして進めていきたい。

【商工費】

商工会補助金の増額は

質問 商工会への補助金が増額となっているが、何か事業を行うためのものか。

答弁 プレミアム商品券の事業費分、商工会から要請があり200万円上乗せしたものとなっている。

山荘浴室洗い場等改修工事は

質問 2年前に栗駒山荘の浴室改修工事を実施しているが、また出てきたので状況を伺う。

答弁 洗い場の壊れたところが主となっている。加えて大広間の畳の表替えや支柱のパネル更新といったものとなっている。

【教育費】

給食センター管理費の増加は

質問 燃料費が2・8倍、光熱水費が2・3倍になっている。規模が大きくなったことが要因と考えられるが経緯を伺う。

答弁 施設の規模が大きくなったことから増加している。電気に関しては基本料金が増加しており使用料は今後の推移をみていきたい。



佐々木 正利 議員

降雪・融雪時期の工事発注になった訳は

村長 工事の工法等で時間を要した

質問 椿川ウル井地区、雪崩防護擁壁工事発注が、なぜ危険な冬の降雪・融雪時期になったのか。

村長 早期に発注する必要があることは十分に認識していたが、工事の工法やどこに設定するかに時間を要して発注できないでしまった。現場の状況を勘案すると早期に発注すべきと反省しているし、決して私の望んでいる行政姿勢ではないので、今後は十分注意してまいりたい。

再問 説明では水路用地交渉の遅れでこの時期になったとのことだが、この経緯と結果は。

村長 水路工事が順調にいくと、大変スムーズにいく事業だったと思っている。水路用地については色んな形でお願いしましたが、何ともしがたい事情もあつたようで遅れてしまった。水路交渉はうまくいかなかった。今後も交渉をお願いする必要があるだろうと思う。

再問 水路用地交渉に見切りをつけた時点は大体いつ頃か。

村長 見切りはつけないし、何としてもお願いしたいとまだ思っている。9月の時点では難しいという感覚はあつた。

安全対策は指導したか

質問 2月17日の議会視察の際、さく井工事関係者は工事現場の上部で雪崩が発生する場所だとの認識を持っていなかった。安全管理がさく井工事を含めて徹底されていないように思うが、どのように指導をされたのか。

村長 さく井工事については、現地は雪崩がくるような状況ではないだろうと判断して、安全対策については監視員を置くような設計になっていない。防護擁壁工事は監視員を置く設計になっており、整合性の取れない計画であつたと深く反省している。

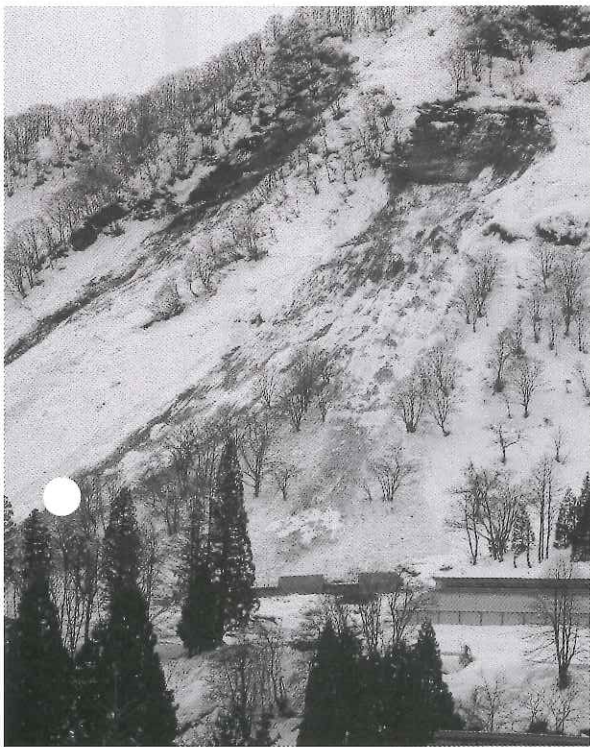
畜舎棟にも防護擁壁が必要では

質問 2月20日から21日にかけて雪崩が発生し、防護擁壁工事現場や畜舎棟近くまで来ているが、畜舎棟方向にも防護擁壁が必要と感ずるが、どのように考えているか。

村長 ウル井地区の畜舎施設全体、雪崩防止対策については、県に対して治山要望していく計画であり、3月には振興局と打ち合わせして、28年の10月には29年度事業の治山事業申請という段取りで進めてまいりたいと思つている。

その他の質問

- 18歳選挙権について
- 防災無線について
- ふるさと納税について



工事現場上部で発生した雪崩



佐々木 健 夫 議員

村営アパート建設はいつか

村長 平成29年度に予定

質問 村の地方創生事業で単身等世帯アパート建設1箇所・10世帯を計画しているが、建設年度と場所を伺う。

村長 アパート建設は、今年度に用地交渉して、28年度に用地造成、29年度に建設を予定している。場所は数箇所を候補地にして今後具体的に詰めていきたい。

村創生戦略関連

質問 2040年の村の推計人口を国の機関社人研では1719人、日本創成会議は1603人と推計し、村の推計は1865人としている。このような村の人口減少が今後村に与える影響をどのように捉えているか。

村長 村の一次から三次産業の生産額は平成17年の45億円から52年には32億円へと3割減少。また高齢化率が50%を超える地域が8地域になる予想。児童生徒の減少などをなんとか食い止めなければいけない。

28年度の重点事業は

質問 新年度予算で村長が特に重点に考えているものはなにか。

村長 雇用創出の産業振興1億4900万円。移住・定住対策4億5000万円。少子化対策7000万円。新たな地方創生として循環拠点施設整備事業2億4700万円。交流対策事業2400万円などで5億3500万円ほど計上した。



改修予定の定住促進空き家活用住宅

こまち販売のその後の状況は

質問 柳沢で精米業をしていたこまち販売は、村内に2つの会社を設立する段取りのようであったが、その後の状況を把握しているか。

村長 現時点では、会社設立に関する地方税に関わる届出もされていないので、そのような事実はないと理解している。

村の農業法人の経営向上にテコ入れできないか

質問 農業法人の経営は、換金性等手っ取り早いことで、米販売が主体のようだ。多様な栽培は賃金倒れになることで拡張が難しい現実。法人設立を誘導した村として、経営が向上し雇用も増えるようにテコ入れできないか。

村長 農業法人は、設立当時は水田の受委託であったが、現在は県の中山間農業応援事業を活用しながらいろいろ挑戦して複合的に事業展開して

いるので、今後も努力していただきたい。

ナイタースキー休止、ラーメン品切れとは

質問 ナイタースキー休止に対して、なぜ休止かといわれている。またラーメンが品切れで多くの人が食べることができなかつたとのこと。企業センスから考えられないが、経緯を伺う。

村長 スキー人口の激減で、ナイター人口も減少している。電気料、人件費を考えた場合、ナイター営業を縮小せざるを得ないことで休止を決断した。またラーメン品切れを確認したところ提供できなかったのは5人であったとのこと。品切れは絶対あつてはならないと言いつつ、残念ながら、申し訳ありません。



佐々木 修 議員

食肉加工センターの継続的な財政負担は

村長 指定管理料も含めて協議していく

質問 食肉加工センターの事業規模から、生産能力、指定管理料などの維持管理費を伺う。

村長 指定管理者の事業計画によると、10年後にはおよそ3億円の売上げ、従業員も50人規模を目標としている。今のところ指定管理料として、維持管理に係る基本料金400万円を予算計上している。

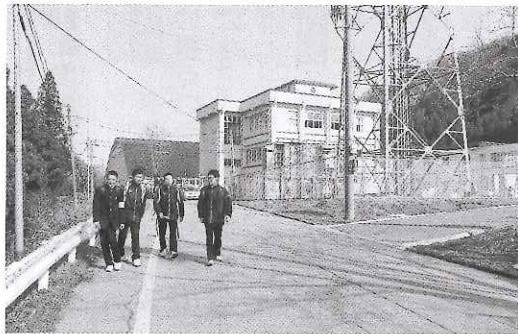
再問 利益が出るに依り、村の負担が増えるのは避けるべき。

村長 批判を浴びないよう、毎年協議し適正な指定管理料とし、会社に対しては経費の削減を要請していく。

質問 雇用形態、雇用の質について、展望を伺う。

村長 「総合戦略」の中で食肉加工センターは大きな事業で、六次産業化により正規雇用が増えることで、定住対策として期待している。会社は、村民を優先して雇用する意向で、村でも要請している。働きやすい、質の良い施設になるように、指定管理者である、羽後の國ファームさんと協議をしていく。

質問 正社員、パートを含め、3年目で37名程の雇用目標である。統合中学校始まって以来の環境の変化であり、通学環境についての想定は。



交通量の増加が予想される通学路

村長 安全対策には万全を期する必要がある、特に冬期間は道幅や、見通しの悪さで、夏以上の注意が必要と思う。車両の一方通行や、場合によっては道路改良の検討も必要と考えている。大小に関わらず、安全対策を十分考慮していく。

地方創生に関連して

質問 国を挙げての地方創生だが、取り組みをしながらも人口、財政が縮小していくことになる。財政負担の少ない事業モデルを実現し、「安定した財政運営の維持」を、「総合戦略」に掲げてはどうか。

村長 地方創生と言っても、何でも取り組むのは課題がある。内容を十分精査し、市町村負担、住民負担の少ない施策の展開が望ましい。しかし、一定程度の負担は求められるだろうし、相当長い人口減少対策を含めて、息の長い事業になる。意見を十分参照しながら、今後の地方創生に取り組んでいく。

上捨遺跡について

質問 上捨遺跡の大型磨製石斧について、素材が「アオトラ石」と鑑定された。これまでの説が覆ったことで、新たな展望や構想を伺う。

教育長 まずは、国重要文化財の指定に影響はないと考える。また調査において、地元や多くの方々のご支援に心から感謝している。今後は、パブリックや看板にも「アオトラ石」を記載予定である。今年度実施した放射性年代測定により5200年前の遺跡と判明した。今回の鑑定で新たな謎、疑問も出てきて、考古学上、学術的価値の大変高い遺跡であり、遙か遠い縄文時代の交流、生活風習などを研究し、一層縄文□マン事業の充実に努めていく。

その他の質問
○水田農業について

3月定例会議議決事項名

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例
行政手続条例の一部を改正する条例
人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例
議会の議員の議員報酬等に関する条例等の一部を改正する条例
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
犯罪被害者等支援基本条例の一部を改正する条例
特別養護老人ホーム設置条例の一部を改正する条例
村づくり活性化資金に関する条例の一部を改正する条例
物産振興資金貸付条例
定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例
村営スキー場設置条例の一部を改正する条例
湯沢雄勝地域定住自立圏形成協定の変更
過疎地域自立促進計画の策定
字の区域変更
平成27年度一般会計補正予算（第8号）
平成27年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）
平成27年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第3号）
平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
平成27年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）
平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）
平成28年度一般会計予算
平成28年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算
平成28年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）予算
平成28年度後期高齢者医療特別会計予算
平成28年度介護保険特別会計（保険事業勘定）予算
平成28年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算
平成28年度簡易水道事業特別会計予算
平成28年度下水道事業特別会計予算
平成28年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）への繰入れ
平成28年度簡易水道事業特別会計への繰入れ
平成28年度下水道事業特別会計への繰入れ
村長専決条例の一部を改正する条例

傍聴席へようこそ



3月4日の開会初日、田子内地区の大黒会11名の方々が傍聴に訪れました。

請願・陳情

2月臨時会議で3件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し、審査の結果、2件を採択、1件を趣旨採択とすべきものとし、採択された陳情は、要請に基づき、意見書を提出することに決定しました。

採択とした陳情

- 労働時間と解雇の規制強化を求める陳情
（陳情者）秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 泉谷 みどり
- 全国一律最低賃金制度の実現をはじめ、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情
（陳情者）秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 泉谷 みどり

趣旨採択とした陳情

- 「平和安全保障関連法」の廃止を求める陳情
（陳情者）秋田・戦争をさせない1000人委員会 代表 山縣 稔

食肉加工センター指定管理者決まる

村食肉加工センター指定管理者選定委員会において選定され、2月第2回臨時会議で決定された「株羽後の國ファーム」の会社概要と「食肉加工センター管理運営に関する事業計画書」の内容を要約してお伝えします。

◇会社の概要

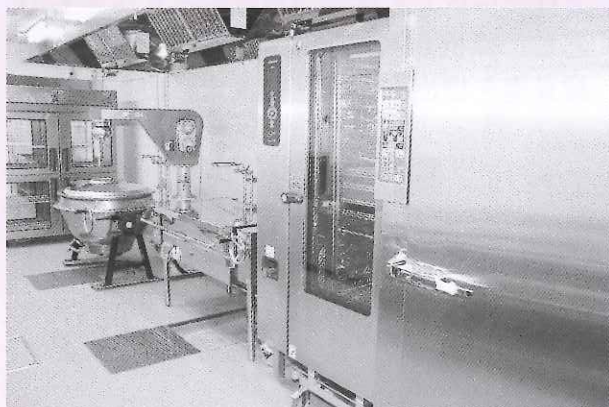
自社牧場や養豚場を有し食肉生産を行っている株菅与と、首都圏を中心に40店舗以上の飲食店を構え、通販事業、食に関する販売企画・商品開発を手がけている株フードワークスの合資会社となっている。

◇生產品目

業務用の精肉（冷凍）、スライス、カットした肉、ハンバーグ、とんかつ（加熱・非加熱・冷凍）などや、ギフト用（生・冷凍）のステーキセット、焼肉セット、ビーフカレーやビーフシチューなど。

◇販路

国内外のホテル&レストラン、惣菜販売店舗、百貨店（ギフト）、通信販売・WEBなど。



食肉加工センターの調理設備

2名の議員が表彰される

3月29日、山村開発センターで平成27年度東成瀬村功労者等表彰式が挙行政され、本議会より2名の議員が表彰されました。

功 勞 賞 自治功勞 富田 義行 議長
佐々木謙吉 副議長
※議員として5期以上

2月臨時会議

2月4日に臨時会議が開催され、平成27年度一般会計補正予算（第7号）が審議され、全会一致で可決されました。

◆補正予算の主な内容◆

- 除排雪費 620万円
- 臨時福祉給付金給付事業費 1184万円
- 冬期交通対策費（除雪費）
1210万円の追加
- 土地取得費 929万円の追加

2月第2回臨時会議

2月25日に臨時会議が開催され、5施設の指定管理者の指定について決定されました。

○食肉加工センター

- ・団体名 株式会社 羽後の國ファーム
- ・代表者 代表取締役 菅原 一範
- ・所在地 東成瀬村椿川字ウル井23番地1
- ・期 間 平成28年4月1日から
平成33年3月31日まで

○育苗センター

- ・団体名 こまち農業協同組合
- ・代表者 代表理事組合長 井上 善藏
- ・所在地 湯沢市北荒川町5番8号
- ・期 間 平成28年4月1日から
平成31年3月31日まで

○農産物加工所

- ・団体名 農事組合法人 なるせ加工研究会
- ・代表者 代表理事 谷藤 トモ子
- ・所在地 東成瀬村岩井川字下村91番地1
- ・期 間 平成28年4月1日から
平成33年3月31日まで

○栗駒山荘・ジュネス栗駒スキー場

- ・団体名 秋田栗駒リゾート株式会社
- ・代表者 代表取締役 佐々木 哲男
- ・期 間 平成28年4月1日から
平成38年3月31日まで

○ジュネス栗駒カントリーパーク

- ・団体名 秋田栗駒リゾート株式会社
- ・代表者 代表取締役 佐々木 哲男
- ・期 間 平成28年4月1日から
平成31年3月31日まで

議会の動き



給食センター（調理室）



食肉加工センター（保管庫）

2月25日、給食センター・食肉加工センターの内覧会が行われ、両施設を視察した。



1月27日、議会全員協議会が開催され、前任期に設置された議会改革特別委員会から引き継がれた課題事項について協議を行い、課題解決に向けた方向性を示した。

委員会活動



積雪状況視察（ウル井工事現場）

2月17日、常任委員会合同で村内の積雪状況視察が行われ、公共施設の管理状況や、ウル井地区の工事状況を視察した。



デイサービスセンターなるせ



特別養護老人ホーム幸寿苑

1月27日、総務教育民生常任委員会で介護施設の視察を行い、運営状況や介護職員の処遇について調査を行った。



温厚で優しい近藤校長でした

この人に聞きたい

かほ Kahō の突撃

いんたびゅう

今回は、4月から東成瀬小学校の校長として赴任された近藤幸一氏にインタビューしました。

かほ ご出身、ご家族、年齢をお願いします。

近藤 湯沢市関口在住で、5人家族ですが、現在は家内と2人暮らしです。歳は誕生日が来ると56歳になります。

かほ 休日の過ごし方などは。

近藤 庭木をいじったり、畑の手入れなど、休日は外で過ごすことが多いです。

かほ 子供の頃の夢はなんでしたか。

近藤 小さい頃はバスの運転手さんになりたいと思っていました。小学生あたりでは北海道で牧場の仕事をしたいなーなんて夢のようなことを考えていた時期もありました。(笑) 現在の仕事を考えたのは中学校から高等学校のあたりで、色々と変わってきてます。

かほ 着任前はどちらの学校でしたか。

近藤 羽後町の高瀬中学校という全校50名弱の中学校です。

かほ 高瀬中学校からということですが、小学校への着任は初めてですか。

近藤 稲川の三梨小に校長として、もう無くなってしまいました。湯沢北小に教頭として、それ以外の勤務経験はありません。全て湯沢市内の中学校です。

かほ 東成瀬村への勤務は初めてですか。

近藤 教育事務所に勤務していたときに学校訪問で年1回か2回お邪魔した限りで初めての勤務です。

かほ 村の子どもの第一印象は。

近藤 素直で明るい雰囲気を持っています。話し方がしっかりしているし、学年の隔たりがなく仲良くまとまっている印象をもちました。

かほ 最後に新校長としての意気込みと決意をお願いします。

近藤 恵まれた教育環境を生かしていきたい。保護者、地域の方々との信頼関係と協力関係を大事にしていく。少ない児童数ですので一人一人を大事にしていく。ということではないかと思っています。

かほ 今日はお忙しい中、ありがとうございました。

暫時休憩

きゆうけい

▼今年は、近年では最も雪が少なく、雪下ろし・除雪の回数も少なくて大変助かった反面、運動不足が心配な方や太った方もいるのでは。

▼中学校から駅伝を走り、社会人になってマラソンを始めた大仙市南外出身の佐々木悟選手が、男子マラソン、リオ五輪代表に選ばれた。

小さな村に暮らす者にとって大変うれしく、とても誇りに思う。いつか東成瀬村から、五輪選手が誕生してほしいと願う。

▼田子内地区地域づくり行事の一つとして、広域消防職員から肴沢センターで入浴事故防止の講話があった。

「皆さんは、入浴温度を何度にしてお風呂に入ってますか」
「・・・？」

勉強になりますので機会があったら聞いてみては。

(委員・佐々木正利)